

「伊自良温泉」に木質バイオマスボイラー設置

注目の自治体施策

福井市では、森林資源を有効活用し、環境負荷の低減を図ることを目的として、2017年4月、福井市伊自良館(伊自良温泉)に木質バイオマスボイラーを導入しました。今後、燃料コストや二酸化炭素排出量の削減効果が期待されます。



伊自良の風景



山中に生息する「ヒメボタル」

自然と歴史、文化あふれる「伊自良の里」

福井市の東、旧美山町をさらに南東方向に進んだ場所にある上味見地区は、通称「伊自良の里」と呼ばれています。周りを緑の山々に囲まれ、田畑が広がり、小川が流れる景色は、まさに日本の原風景そのもので、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。

地区の東に位置する標高884.3mの飯降山(いふりやま・通称おだけさん)は、市内最高峰の山で、あの「まんが日本昔ばなし」にも登場しました。この伊自良という呼び名は、「太平記」にも登場する、鎌倉時代から江戸時代の終わりまでこの地域帯を治めていたといわれる豪族の伊自良氏に由来するものです。



バードウォッチングの様子

地域資源を活用した「エコ推進活動」

このような素晴らしい自然環境にある「伊自良の里」ですが、この豊かな自然をさらに「地域資源」として活用すべく地元住民が主体となって様々な活動を行っています。例えば、地元を流れる豊富な水資源を利用して小水力発電に積極的に取り組んでいます。福井工業大学と連携して、地域の各処に水車を設置し、LED電灯を点灯させるというエネルギーの地産地消を目指した先進的な取り組みを進めています。



神当部町に設置してある「5連水車」

天然温泉に木質バイオマスボイラーを導入

また、この地域には、この水資源同様、多くの森林資源が存在しています。戦後の日本においては、薪や炭などを燃料として大量に利用してきました。しかしながら、その後の高度経済成長やエネルギー革命によって、石油などの化石燃料が多く利用されるようになったことに加え、近年の過疎化、高齢化の影響により、その森林の多くが手付かずの状態となっています。

福井市では、このような森林資源を有効活用し、環境負荷の低減を図ることを目的として、2017年4月、福井市伊自良館(伊自良温泉)に木質バイオマスボイラーを導入しました。

これら放置されたままの里山の間伐材などを有効活用し、未利用資源としてエネルギー利用していくことが、環境面でも優れているとして、現在注目を集めています。この間伐材などの木材からなる「バイオマス」は「木質バイオマス」と呼ばれています。

※再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)



ボイラー庫



薪ボイラー「ガシファイヤー」

設置したボイラーは、アーク日本株式会社製のガシファイヤーという国産ボイラーで、薪を燃料とするものです。木質バイオマスボイラーの種類には、チップやペレットを燃料とするもの

もありませんが、薪を燃料とするボイラーは、ここ福井市伊自良館への設置が県内初の導入事業となっています。



東村市長による「火入れ式」の様子

木質バイオマスボイラーのメリット

この木質バイオマスボイラーを導入することにより、次のような3つの効果が期待されています。

1つ目は、「燃料コストの削減」です。薪を燃料とする木質バイオマスボイラーと既存の重油ボイラーを併用することにより、重油の使用量をこれまでより2割程度抑えることができます。

2つ目は、「二酸化炭素排出量の削減」です。当然、化石燃料も木質バイオマスも燃焼することによりどちらも二酸化炭素が排出されます。ただし、木質バイオマスの場合、その排出される二酸化炭素は、もともと樹木がその成長過程で吸収した二酸化

炭素であるため、大気中のトータルな二酸化炭素の量は変化しません。大気中の二酸化炭素濃度に影響を与えないというこの「カーボンニュートラル」の特性を持つ「木質バイオマス」を燃料として使用し、化石燃料である重油の使用量を削減することにより、二酸化炭素の排出が抑制され、地球温暖化防止につながるようになります。

3つ目は、「未利用資源の活用」です。燃料となる薪は、チップやペレットといった他の木質燃料とは異なり、木材からの加工が容易であり、自家調達もできるという利点があります。したがって、この地域に豊富に存在する間伐材などの未利用資源を、燃料として有効的に今後活用していけば、地域林業の活性化促進にもつながります。また、間伐材を有効活用するため、近年荒廃が叫ばれている里山に人が入り、森林整備が推進されることで、獣被害の抑制という効果も併せて期待できます。

以上のような効果が期待される「木質バイオマスボイラー」で沸かした伊自良温泉のお湯は、心にも地球環境にも優しいお湯といえるのではないのでしょうか。

この木質バイオマスボイラーの設置が新しい契機となり、「伊自良の里」を訪れる方がますます増え、より一層魅力あふれる地域となることを期待しています。

(文責)自治労福井市職員労働組合
白崎 昌宏